



城下（岡山城・岡山後楽園口） 電停の改名と回遊性確保

■今週の岡山市大森市長の定例会見で、岡山市内回遊性の向上の一環として、城下電停の名称を「城下（岡山城・岡山後楽園口）」と改名することが発表された。9月末には改名し、同時に岡山駅中央改札には後楽園、岡山城への電車バスの誘導看板を新規に設置するなど、サイン計画が見直される。

■実は5月11日にアメリカのLRT路面電車視察団が岡山に来たとき、「日本の新幹線は世界一だが、路面電車の活用が遅れているし、岡山では駅前で後楽園への行き方さえわからない」と指摘された。確かに岡山駅から後楽園へは直通バスもあるがわかりにくいし、路面電車は後楽園から400mの所まで伸びているのに、駅前広場からでは乗り場も見えない。岡山城や後楽園側でも車の来場ばかり考えているようだ。

年号	年	0.9km	1.0km	1.1km	開業
明治	45		上之町	御城下	開業
				↓	3
大正	3			城下	
			↓	↓	2
	5			御城下	
			↓	↓	
昭和	18		廃止		38 20年空襲・終戦
			↓	↓	
	24		上之町		
			↓	↓	5
	29		廃止	上之町	37年国体
			↓	↓	
	40				14
			↓	↓	
	43		上之町	廃止	番町線廃止
			↓	↓	2
	45		表町入口		
			↓	↓	15
	60	城下	廃止		センターポール化
		↓	↓	↓	
平成	26				現在
			↓	↓	29

開業以来
城下・御城下 102年
上之町 72年
表町入口 53年
15年

■そこで岡電と岡山市に「城下後楽園口」と改名して、岡山駅から岡山城後楽園へのサイン計画を完備してほしいと要望したところ、丁度岡山市も9月末までに、

サイン変更を計画していたので、話はとんとん拍子に進んだ。

■今年で岡電は開業102年。最初に開業したのは岡山駅から御城下、後楽園口だった。上之町電停も53年あったが、城下もしくは御城下電停は72年間存在。城下は一時期、表町入口だったこともあるが、昭和60年に今の城下電停になって既に29年。城下の名前は市民に定着している。そこで後楽園口だけ追加すれば、混乱は最小限になると考えた。地元の意向をふまえて少し名称は長くなった。

■イオン進出を見込んで上之町から県庁通りに移転する飲食店が出てきているとも聞くが、回遊性確保といっても、表町が元気でなければ回遊性は確保できない。間髪入れずの岡山市の発表を聞いて一安心。

■さて城下電停を活かして、イオンに来るというお客2000万人の1%でも表町、岡山城、後楽園に回遊させる数値目標を作ろうではないか。後楽園の入園者は70万人を切ったというが、1%20万人のうち10万人を路面電車で城下に降りてもらって、回遊する仕掛けをしてほしい。初めて岡山に来て路面電車に乗っても、路面電車から表町商店街の存在は気が付かないかもしれない。だったら「郵便局前」は「表町西口」とするなど、名称を回遊客にわかりやすくするのもいいかも。もちろん一番大事なのは、回遊して楽しい仕掛けづくりなのだ。

■心配されるイオン渋滞を解消するには、渋滞に巻き込まれるバスでは不十分なので、JR線の積極活用は急務。JRも、イオンへの自動車来店客52%のうち、10%200万人を余分に取る仕掛けをしたら、仮に往復300円として年間6億円の増収ではないか。ならばJR自身にもP&Rの駐車場を整備する努力をしてほしい。

■要は目標を決めて、色々やってみる必要がある。いままで停滞していた岡山の経済とまちづくりを変えるなら、イオン進出をチャンスととらえ、みんなで儲かる街にしたいものだ。黒船来航が明治維新を招いたように、イオン進出を福の神としようではないか。

